お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		

ランプ交換・器具の清掃 ―⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

適合LEDランプ（ランプホルダ付）		
KST1951A KST1962A	LE13402S3W-A	
KST2951A KST2962A	LE20404S3W-A	
KST4951A KST4962A	LE20405S3W-A	

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
- ○ランプの電線を引っ張らない（ランプ破損の原因）

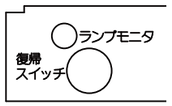
○ランプ交換を実施した後は必ずリセットスイッチを押してください。（3 秒長押し）
器具の清掃などでランプが消灯した場合は、復帰スイッチで再点灯してください。
○ランプ交換はランプホルダごとの交換になります。

清掃

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾などは使用しないでください。

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

「ランプモニタについて」
○ランプモニタ（赤）
ランプモニタの点滅は「ランプの寿命」をお知らせするものです。
ランプの累積点灯時間が 60,000 時間（ランプの寿命は約 60,000 時間です）に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください。
（注）ランプ外れ等の異常時にも点灯します。
この場合は、ランプ破損、コネクタ外れがないか確認してからリセットスイッチを押してください。



スイッチ部

点灯検査

点検スイッチはついていません。点検する場合は、下記の手順で行ってください。
1. 常用電源（AC100V）を切る。
2. 非常電源（DC100V）を通電し、非常点灯するかを確認する。
（常用電源が入った状態では、非常点灯の確認はできませんのでご注意ください。）

点 検

■６ヶ月に１回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。［消防庁告示第３号と第 14 号］
■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。［消防法施行規則第 31 条］

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して８～ 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
●周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E763Z362G01　E763Z362H20

保管用

三菱避難口・通路誘導灯【電源別置形】

形名
KST1951A（C 級・片面灯）
KST2951A（B 級・BL 形・片面灯）
KST4951A（B 級・BH 形・片面灯 ）
KST1962A（C 級・両面灯）
KST2962A（B 級・BL 形・両面灯）
KST4962A（B 級・BH 形・両面灯 ）

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
		禁止	電源線を器具の外郭に直接触れさせない。（過熱して火災の原因）
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃を超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）
			器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。（絶縁不良により火災・感電の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。（器具が過熱して火災の原因）
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）		工場等での特殊環境（油類噴霧状態等）では、使用できません。

お 願 い

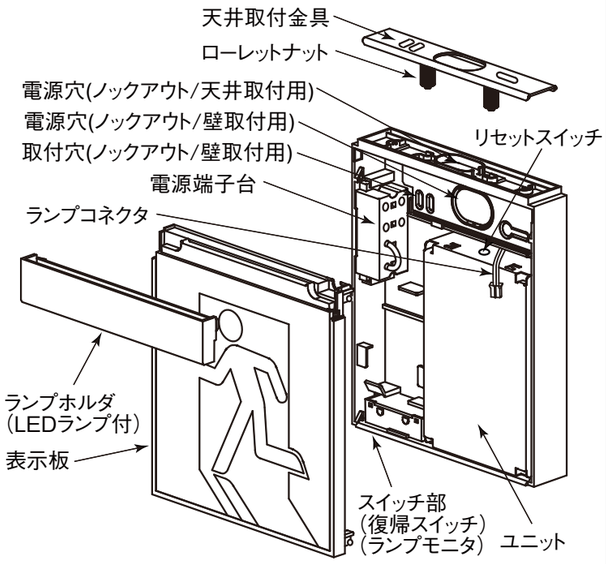
■周囲温度は５～ 35℃の範囲でご使用ください。
■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。
■この器具から非常電源までの配線は、耐火措置が必要です。

定格

		KST1951A	KST1962A	KST2951A	KST2962A	KST4951A	KST4962A
平常時	定格電圧	AC100V（変動範囲 AC100V ± 6V）					
	定格周波数	50/60Hz					
	入力電流	21mA	33mA	36mA	60mA	59mA	100mA
	入力電力	0.9W	1.4W	1.6W	2.7W	2.8W	4.9W
	使用ﾗﾝﾌﾟ	LE13402S3W-A x 1	LE13402S3W-A x 2	LE20404S3W-A x 1	LE20404S3W-A x 2	LE20405S3W-A x 1	LE20405S3W-A x 2
非常時	電源	非常用電源 DC100V（変動範囲 DC85V ～ 145V）					
	使用ﾗﾝﾌﾟ	LE13402S3W-A x 1	LE13402S3W-A x 2	LE20404S3W-A x 1	LE20404S3W-A x 2	LE20405S3W-A x 1	LE20405S3W-A x 2

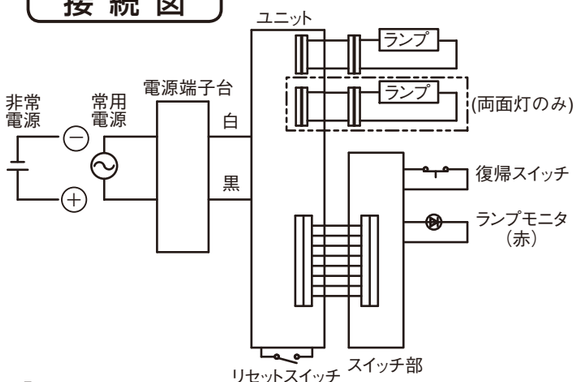
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



＜上図はKST1951Aを示す＞

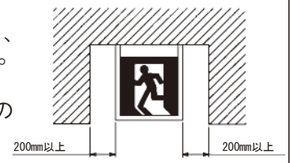
接 続 図



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、ネジ取付部の強度を確保する。

○取付工事のため次のように器具の両側に 200mm 以上の余裕を設ける。



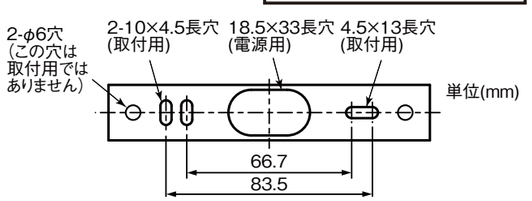
⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

＜天井直付けの場合＞

(1) 天井取付金具を取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因



ボックスに取付ける場合は器具用カバーを使用する。
丸穴カバーは使用できません。

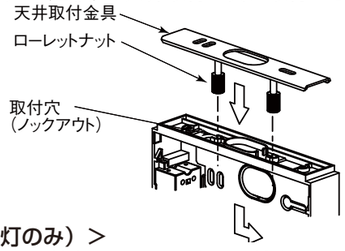
丸穴カバー　器具用カバー（スイッチカバー）

(2) 本体上面の電源穴及び取付穴のノックアウトを外す。（片面灯の場合のみ）

(3) 電源線を本体の電源穴から引き込んでおく。

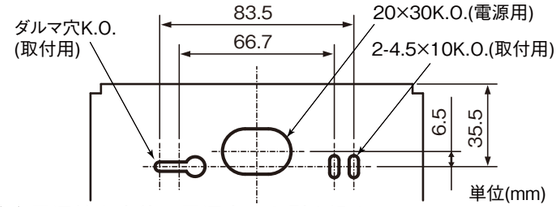
(4) 本体をローレットナット（2個）で天井取付金具に取付ける。

⚠注意
ナットは確実に取付ける
（不完全な取付けは落下の原因）



＜壁付けの場合（片面灯のみ）＞

(1) 本体背面の電源穴及び取付穴のノックアウトを外す。



(2) 電源線を本体の電源穴から引き込む。

(3) 本体を取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

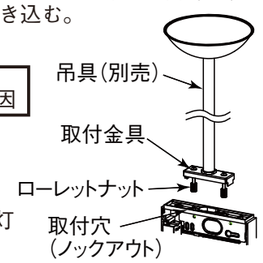
＜天井吊下げの場合＞

別売の吊具を使用して取付ける。

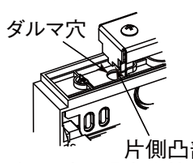
(1) 本体上面の電源穴及び取付穴のノックアウトを外す（片面灯のみ）

(2) 吊具に器具本体をローレットナット（2個）で取付ける。

(3) 吊具を天井に取付ける。



⚠注意
ナットは確実に取付ける
（不完全な取付けは落下の原因）

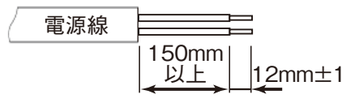


ダルマ穴に凸部を差し込む事
（吊具に方向性有り）

3 電源線を電源端子台に接続する

この器具は 2 線配線専用です。常用電源（AC100V）と非常電源（DC100V）は共用配線で接続してください。

(1) 電源線の皮むき寸法は次のようにしてください。



⚠注意
シースは 150mm 以上皮むきする。
本器具は、電源線を収納するスペースが十分にありません。シースのむきが短いと収納スペースがなくなり、表示板が本体に装着できなくなります。

(2) 電源線を電源端子台に確実に差し込む。電源線は器具の奥の方に押しつけるようにする。

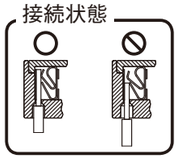
⚠注意
電源線が浮き上がっていたり、乱雑に束ねていると、表示板の収納スペースがなくなり、本体に装着できなくなります。

○電源端子台の容量は 20A 以下です

お願い
電源端子台には送り端子が付いていますが、器具内に電源線を収納するスペースが十分にないため、工事性を向上させるために送り配線は器具内で行わず、ジョイントボックスまたはアウトレットボックスで行う事を推奨します。

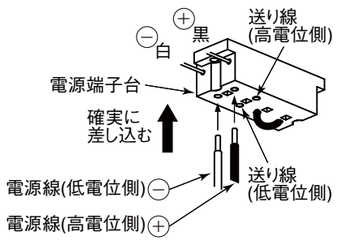
○適合電線：φ 1.6mm 単線　φ 2.0mm 単線

接続状態



⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する
（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ電源端子台の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



⚠注意
アース不要（アース端子はありません）

⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

⚠注意
非常電源（直流）には極性があるので、器具の表示通り結線する

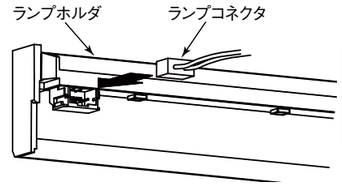
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6 mm のマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

■平常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。

■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書と別紙の配線方式を参照してください。

4 ランプコネクタを接続する

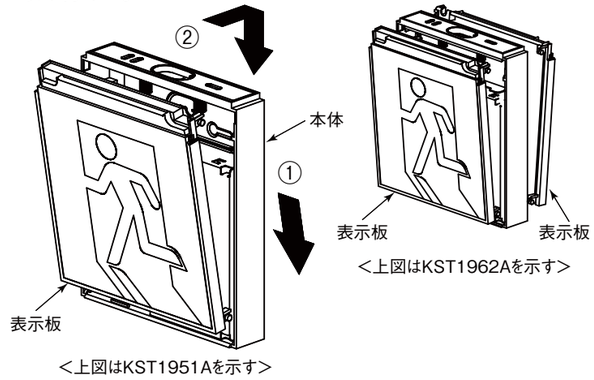
ランプコネクタをランプホルダに確実に取付ける。（両面灯の場合には、背面側にもランプホルダを確実に取付ける。）



⚠注意
ランプコネクタに無理な力を加えない
（ランプ破損の原因）

5 表示板を本体に装着する

リード線をはさまないように、①②の順で、表示板を本体に確実に取付ける。（両面灯の場合は、背面側にも表示板を取り付ける。）



＜上図はKST1962Aを示す＞

＜上図はKST1951Aを示す＞

⚠警告
本体と表示板の間に配線をはさみこまない
（故障・感電の原因）
表示板を確実に取付ける
（取付け不完全はがたつき、落下の原因）

6 ランプホルダを本体に装着する

ランプホルダを本体に取付ける。（両面灯の場合は背面側にもランプホルダを取付ける。）

⚠警告
本体とランプホルダの間に配線をはさみこまない
（故障・感電の原因）
ランプホルダを確実に取付ける（取付け不完全はがたつき、落下の原因）

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

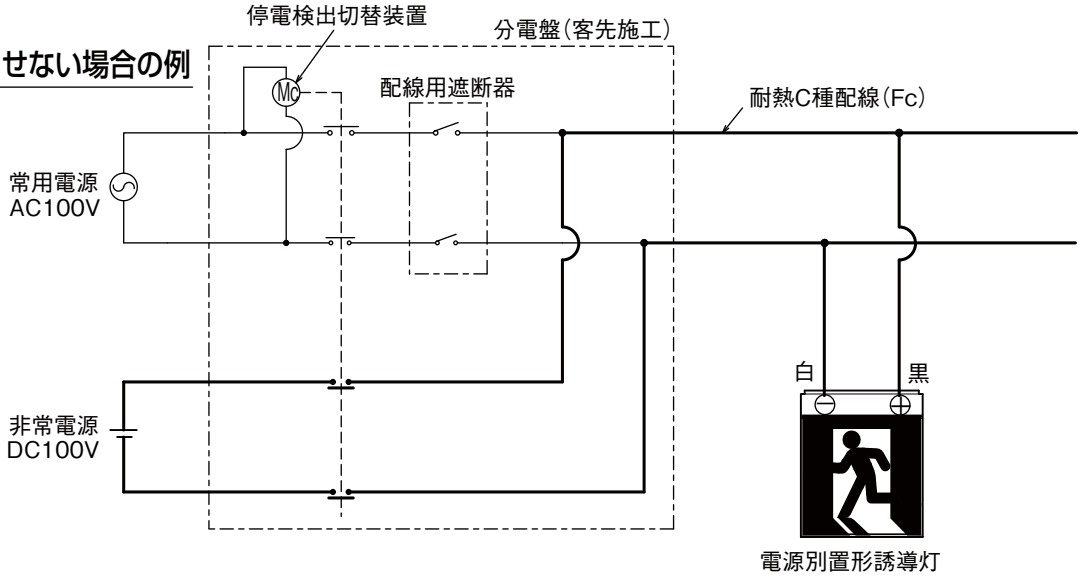
耐熱C種配線の例

電線の種類	工事種別	耐熱処理
600V架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線	金属管工事 合成樹脂管工事	耐火構造とした主要構造部に壁体等の表面から20mm以上の深さで埋設してください。
600V2種ﾋﾞﾆｰﾙ絶縁電線		
耐火ケーブル(耐火電線)	ケーブル工事	露出又はシャフト、天井裏等に隠ぺいしてください。(無処理)
MIケーブル		

注.この器具の非常電源までの配線は、耐熱C種配線(Fc)としてください。
＊耐熱C種配線(Fc)とは、840℃で30分の耐熱試験に耐える措置を施した配線をいいます。
施工場所や使用電線により、耐火措置の方法が異なります。
＊耐火電線は「昭和53年消防庁告示第7号」に適合する電線であること。(原則として認定品であること)
＊耐熱電線は「昭和61年消防庁告示第10号」に適合する電線であること。(原則として認定品であること)

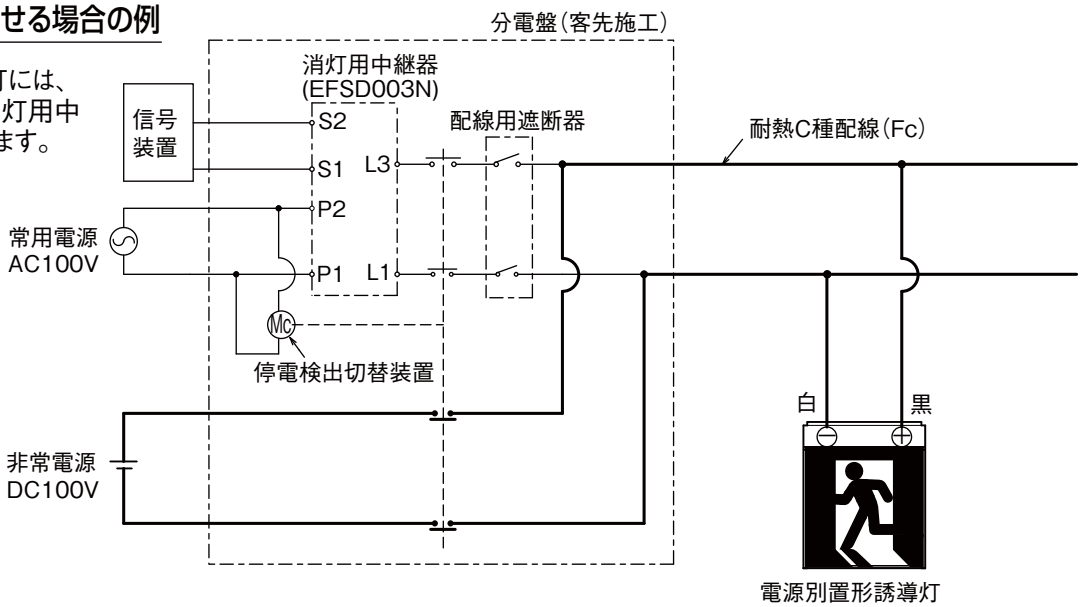
配線方式

A.常時,消灯させない場合の例



B.常時,消灯させる場合の例

・誘導灯の消灯には、信号装置と消灯用中継器を接続します。



注1)非常用電源はDC100Vです。極性を誤ると点灯しません。黒側 ⊕、白側 ⊖で結線してください。
2)この器具は2線配線専用です。常用電源と非常電源は共用配線で接続してください。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。ランプ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。